

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 5 日

評価対象事業		評価者	保育課長 栗原 章郎		
こども-17	重点事業	公立保育所整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	保育課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	こども支援課(こどもみらい課)
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	子育て支援施設の整備	

1 事業の目的

対象	両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童
意図	両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童の保育を行うため。
効果	公立保育所の効率的な運用を行うとともに、待機児童対策に取り組む。

2 平成29年度に実施した事業の概要

・保育所の運営に必要な消耗品・備品を購入し、材木座保育園と稲瀬川保育園の引越しを完了させ、由比ガ浜保育園を開園した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)		36,593		当初予算(千円)	1,698		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源		36,593		一般財源	1,698		
事業経費運営	人員配置数		1.0		人員配置数	0.5		
	人件費(千円)	0	7,978		人件費(千円)	4,011		
	総事業費(千円)	0	44,571		総事業費(千円)	5,709		
	市民1人当りの経費(円)		253		市民1人当りの経費(円)	32		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-2. 受益者はいいが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	由比ガ浜こどもセンターの建設が本格化した平成27年度から予算規模は拡大してきたが、平成29年度に施設整備が完了したことから、予算規模は縮小する。
					事業へ統合

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input checked="" type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	
----------	---	--------------------	--

総評(評価に対する考え方、根拠等)	重要で緊急度が高い事業であることから、関係各課とより緊密な連携を図りながら、事業の確実な推進に努めた。
-------------------	---

平成29年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	由比ガ浜こどもセンター建設工事に伴う移転及び備品整備。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	由比ガ浜こどもセンター建設工事に伴う移転及び備品整備を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	旧稲瀬川保育園及び旧材木座保育園内に残置する廃棄物の処分を行う。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	待機児童数(平成29年4月1日)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	三浦市	葉山町	横浜市	川崎市	横須賀市
他市実績	47人	148人	18人	32人	0人	47人	2人	0人	12人

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	待機児童数は、その地域の様々な要因により形成されるもので、数値のみをもって単純に比較できるものではないが、結果として三浦市、川崎市で待機児童解消は達成されたものの、いまだ本市における待機児童は多く発生しているため、施設整備により定員の総数は据え置くものの、待機児童は多い。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	待機児童数(各年度4月1日現在)					単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		平成30年度より待機児童の算出方法が変わり、潜在的待機児童が待機児童としてカウントされることとなったため、目標値の下方修正を行っている。
保育を必要とするすべての就学前児童を保育することが求められているため。	目標値	5	3	1	0	30		15		
	実績値	55	50	44	47	93				
達成率	9.1%	9.1%	2.3%	0.0%	32.3%					

指標の内容	入所児童数(各年度4月1日現在)					単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		待機児童数から算出した目標値に向け、施設整備を進めており、入所児童数の目標は概ね達成しているが、それを上回る新たな保育希望が発生するため、待機児童の目標値達成には至っていない。
保育を必要とするすべての就学前児童を保育することが求められているため。	目標値	-	2,578	2,499	2,411	2,791		2,825		
	実績値	2,241	2,404	2,434	2,438	2,535				
達成率	-	93.3%	97.4%	101.1%	90.8%					

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	由比ガ浜こどもセンターの建設にあわせて、鎌倉地域の待機児童の状況に鑑み、対応に資する定員構成の変更を行い、待機児童数の多い低年齢児の定員を増加させた。
-----------------------	---